

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年2月2日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部 国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2026年1月16日
明治大学卒業予定年月	2028年3月
<b>留学先大学について</b>	
留学先国	フランス
留学先大学	リヨン政治学院(日本語名) Sciences Po Lyon(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	フランス語・英語/英語
留学期間	2025年8月～2025年12月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: DFES  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 9月上旬～1月中旬 2 学期: 1月中旬～5月下旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約 2000 人
創立年	1948 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ユーロ ) (1 現地通貨 = 180 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	876€	円	ガス、電気、水道代込みで 1 か月 292€ ほど
食費	1,440€	円	
図書費	0	0 円	基本的にパソコン
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	160€	円	1 か月約 20€のプラン
現地交通費	84€	円	( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)	2,200€	円	
被服費	80€	円	
医療費		円	
保険費		10,000 円	形態: 明治大学の保険
渡航旅費		300,000 円	
ビザ申請費		15,600 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	4,840€ (=871,200 円)	325,600 円	
総計(A+B) ※円		1,196,800 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。



## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

過去に留学した先輩にききました。Guillotiere という地区が危険だと大学のオリエンテーションでも言われ、日中以外はその地区は通らないようにしました。そのほかのエリアは夜中に出歩いても特に問題ありませんでした。盗難被害にはめったに遭いませんでしたが、リヨンに到着した日にクレジットカードで身に覚えのない支払いがされました。泊まったホステルでスキミング被害に遭ったと思われます。それ以降は貴重品は常に携帯するようにしました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に問題なかったが、たまにネットにほとんどつながらない飲食店があった。現地では free mobile に契約しヨーロッパならほとんどの国でネットを使うことができたが、まれに使えない国がある。スイス旅行をした際に数分で多額の額を請求された。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

半年未満の滞在だったため開設しなかった。ネットで wise の口座を開けて日本の口座から親に送金してもらった。wise は送金時の手数料が安いのでおすすめ。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

常備薬

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位	<input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 35 ECTS		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
French Politics and Society		フランス政治と社会
科目設置学部・研究科		
履修期間	1 学期	
単位数	5 ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Alister Cole	
授業内容	フランス社会と政治形態の変容について。1 回の授業の前半は講義で、後半は講義の内容に関連したセミナー形式。	
試験・課題等	グループプレゼンテーションと期末試験	
感想を自由記入	教授の説明が分かりやすく、フランス社会について初めての学びがたくさんあり有意義だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
The US-Uk Special Relationship	アメリカとイギリスの特別な関係
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 学期
単位数	5ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Thiery Fortin
授業内容	戦後の英米の関係について。特に軍事面。
試験・課題等	期末レポート
感想を自由記入	教授の話すスピードが速く情報量が多かった。想像していたよりも軍事面にフォーカスしていて私にとってはあまり興味を持てる内容ではなかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Cities and Aspects of Globalization	都市とグローバリゼーション
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 学期
単位数	5ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教授	Samadia Sadouni
授業内容	都市についての理論を学ぶとともに南アフリカを中心に各国の都市を比較する。
試験・課題等	グループプレゼンテーションと期末試験
感想を自由記入	都市発達の歴史や役割を理論的に学ぶことができ面白かったが、教授が厳しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Persecution, toleration, and migration in Europe during early modern era	迫害と寛容、移民の歴史
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 学期
単位数	5ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Frédéric HERRMANN
授業内容	中世から近世にかけてのヨーロッパにおける宗教的権力と人々との関係の変化
試験・課題等	期末レポート
感想を自由記入	宗教思想と迫害の関係について理論的に学べて面白く理解が深まった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Global justice: A European perspective	ヨーロッパの視点におけるグローバルな正義
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 学期
単位数	5ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Sophie PAPAEFTHYMIU
授業内容	グローバルな正義について政治哲学と結びつけながら学ぶ。
試験・課題等	グループプレゼンテーション
感想を自由記入	現実社会の問題を理論と結びつけて考えることができ面白かった。しかし、教授がスケジュールや成績評価に関して少しいい加減だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
French language class	フランス語(中級)
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 学期
単位数	5ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Deloit Sophy
授業内容	グループワーク中心のフランス語のレッスン
試験・課題等	期末試験
感想を自由記入	生のフランス語に触れることができたほか、クラスメイトと仲良くなれた。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職    進学    未定    その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)  
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。  
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。  
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	留学先の決定
留学開始年	1月～3月	フランス語の勉強を開始
	4月～7月	住居探し
	8月～9月	ビザ申請、渡航
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	旅行、帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

幼い時からなんとなくあこがれがあったフランスの中でも、英語で授業を受けられる点とリヨンという都市にある点に惹かれリヨン政治学院への留学を決めました。初めての海外で不安もありましたが、一生の宝物となる充実した日々を過ごすことができました。一生付き合いたいと思える友人にも巡り合うことができました。渡航前は将来自分は何をしたのか、どのようなことに興味があるのかわかりませんでした。留学を通して視野が広がり将来ビジョンが以前より明確化した気がします。やりたいことや学びたい分野がはっきりしていなくても思い切って留学してみることをお勧めします。

リヨンは気候や街並みの良さはもちろん、人の温かさが印象的で大好きになりました。しかし、良いことばかりでなく思い通りにいかないこともたくさんありました。例えば、フランス人は特に自国言語に対するこだわりが強く現地学生と仲良くなるのが難しかったです。そのようなときにもっとフランス語をやっておけばよかったと後悔しました。英語が日本人と比べて上手なフランス以外の EU 圏からきている留学生においても然りです。語学は直前まで磨きをかけてください。また、このように現地での人間関係に苦戦した際に何でも相談できる友人がいると心強いです。私は現地の日本人のほか、日本にいる際にヨーロッパからの留学生の友人をたくさん作っていたことが良かったと今思い返して思います。いろいろありましたが、ひっくり返って私の成長の糧となったと信じています。皆さんの挑戦を応援しています。